

報道関係者各位

業界初 FC 展開や自社開発AIアプリ 高齢者の自立支援に着目 介護に特化 独自のリフォームビジネスを構築 『かながわビジネスオーディション 2019』にて “神奈川県知事賞”を受賞

介護向け住宅リフォーム事業を行う株式会社ユニバーサルスペース（本社：神奈川県横浜市、代表取締役：遠藤 哉）は、2月6日に『かながわビジネスオーディション2019』にて神奈川県知事賞を受賞しました。

今年、創業10年を迎えた当社は、「快適生活を創る」という経営理念を掲げ、2013年より介護リフォームフランチャイズチェーン『介護リフォーム本舗』の展開を開始。これまでにビジネスモデル特許取得、フランチャイズ展開、AIアプリの開発など革新的な挑戦を行い、介護リフォーム業界に新しい風を吹き込んでいます。その結果、累計工事実績40,000件超、2018年度の工事実績前年比120%・売上前年比125%と、創業時から右肩上がりで順調に推移。2016年にはビジネスモデルが経済産業省の『先進的なリフォーム事業者表彰』にも選定されています。現在、関東を中心に全国57店舗まで拡大、年内には100店舗を目指しています。

今回、『かながわビジネスオーディション2019』では、“介護業界に革命を！”をテーマに、リフォーム業界初の“介護リフォームのシステム構築”や“見積AIアプリの自社開発”を紹介し、神奈川発ニュービジネスとして相応しいものとして評価されました。



『かながわビジネスオーディション 2019』の様子

■4万件超の実績から、システム構築・見積AIアプリを自社開発 より工期を大幅に短縮へ

社会貢献の側面が注目され、ビジネス化が難しいとされる介護業界において、“きちんと収益を上げる”ことを重視。同時に、介護リフォームで重要な“高齢者の自宅での危険を1日も早く取り除く”ことをかなえるべく、当社では、4万件超の実績から、作業の効率化となるシステム構築、AIアプリを自社開発し特許を取得しました。

独自開発のビジネスモデル「介護リフォーム支援システム」（特許第6222945号）は、見積作成や介護保険の申請書類の作成などの事務作業を一括で管理できるクラウドシステムを構築し、介護事業者や施工業者との円滑でスピーディな連携を実現しました。



見積アプリ『FUS II』による手すりの設置

さらに2018年には、リフォーム業界初の見積作成AIアプリシステム

『FUS II』（特許第6391206号）を開発。11月から直営店にてテスト運用をスタートしています。現地調査の訪問時に専用タブレット端末を携帯し、アプリを立ち上げリフォーム希望箇所を撮影するだけで寸法を自動

で算出し、部材も選べ、クラウド上で過去の工事実績と照合することでその場で見積りを自動作成。契約書作成や電子署名にも対応しています。

これらにより、通常1カ月以上かかる工事をおよそ2週間に短縮。またシステム化により、介護リフォームの経験の浅いスタッフでも、サービスの質を落とすことなく適正な提案が可能になりました。

■住み慣れた家で、最期まで。介護リフォームで「ビジネス」と「社会貢献」をつなぐ

日本が突き進んでいる超高齢社会は、同時に要介護者の社会でもあり、要介護認定を受けている方は 2000 年に 218 万人だったが、僅か 15 年後の 2015 年には 608 万人に増大し、今後も増え続けると予想されています(平成 28 年・厚生労働省老健局調べ)。政府は「お世話をする介護」から「自立支援介護」にシフトしている中、住み慣れた自宅で、安心して安全に生活できる環境整備がこれまで以上に求められています。しかし、在宅介護への家庭内の改善はあまり進んでいない傾向です。

実際に、高齢者の死亡者数は、交通事故よりも、転倒などその他の事故の方が圧倒的に多くなっているのが実情です(平成 27 年人口動態調査 厚生労働省)。転倒・転落事故は家庭内で起きやすく、現在の住環境や生活習慣などに合わせ、早めの対策が必要であると当社は考えており、さらに進む超高齢社会の中で全国にフランチャイズチェーン店舗を増やしていき、高齢者の安心安全な生活支援をおこなっていきます。

【店舗概要】

店名：『介護リフォーム本舗』

設立：2013 年

店舗数：全国に 57 店舗 (直営店は 4 店舗)

(岩手県 1 店舗、東京都 14 店舗、神奈川県 11 店舗、
埼玉県 6 店舗、茨城県 1 店舗、栃木県 1 店舗、千葉県 3 店舗、
愛知県 3 店舗、岐阜県 1 店舗、静岡県 3 店舗、大阪府 5 店舗、
兵庫県 1 店舗、福井県 1 店舗、富山県 1 店舗、石川県 1 店舗、
広島県 1 店舗、福岡県 1 店舗、大分県 2 店舗)

URL : <https://kaigor.com/>

工事実績：40,000 件

2013 年度 3,700 件

2014 年度 4,000 件

2015 年度 4,200 件

2016 年度 5,000 件

2017 年度 7,100 件

2018 年度 8,500 件

売上高：2013 年 12 月 3 億 6,500 万円

2014 年 12 月 3 億 8,300 万円

2015 年 12 月 4 億 1,700 万円

2016 年 12 月 4 億 6,100 万円

2017 年 12 月 6 億 2,600 万円

2018 年 12 月 7 億 8,200 万円



特徴：・業務を効率的に回し、単価が低くても収益につなげるビジネスモデルを構築し、
フランチャイズ化。

発明の名称「介護リフォーム支援システム」特許第 6222945 号

・介護事業者や施工を実施するリフォーム業者との連携をネットワーク上でシステム化。
見積作成、介護保険の申請書類の作成、顧客情報、工事内容、部材の手配などの事務作業を
一括で管理できるクラウドシステムを構築。

・画像認識 AI(人工知能)を活用し、介護リフォーム工事の見積作成を自動化するアプ
リを開発。

発明の名称「リフォーム業務支援システム リフォーム業務支援サーバー」

特許第 6391206 号

【会社概要】

社名	株式会社ユニバーサルスペース
代表	遠藤 哉
本社	神奈川県横浜市戸塚区戸塚町 3002
ホームページ	https://universalspace.jp/
TEL	045-392-6015
設立	2009年1月
資本金	2,000 万円
従業員数	26名
事業内容	フランチャイズ事業/介護リフォーム/リフォーム/設計監理・施工管理業務/ 宅地建物取引業/保険代理業



＜本件に関する問い合わせ先＞

ユニバーサルスペース 広報事務局

TEL:03-5411-0066 FAX:03-3401-7788 E-mail : pr@netamoto.co.jp

担当 : 杉村 (携帯 : 070-1389-0175)

【参考資料】

日本が突き進んでいる超高齢化社会は、長生きできる幸せとともに、要介護が増える社会でもあります。要介護認定者は、2000年の218万人から、わずか15年後の2015年には608万人と3倍近くにまで増加。平成28の厚労省老健局の調べでは、今後も増え続けると予想されています。

また高齢者の死亡原因は、疾患を除くと転倒などその他の事故が多く、この数字は交通事故を上回ります（平成27年「人口動態調査」厚労省）。転倒・転落事故が起こりやすいのは、過ごす時間の長い家の中が圧倒的。住環境や生活習慣などに合わせた早めの対策が、介護される側の、そして介護する側の負担の軽減につながります。

高齢者(65歳～79歳)の死亡原因のトップ5

高齢者の死亡原因トップ5

	死亡原因	死亡数
第1位	悪性新生物	153,481
第2位	心疾患(高血圧性を除く)	45,243
第3位	脳血管疾患	27,382
第4位	肺炎	21,852
第5位	不慮の事故	11,067

出典：平成27年人口動態調査（厚生労働省）

不慮の事故、50%以上が「家」

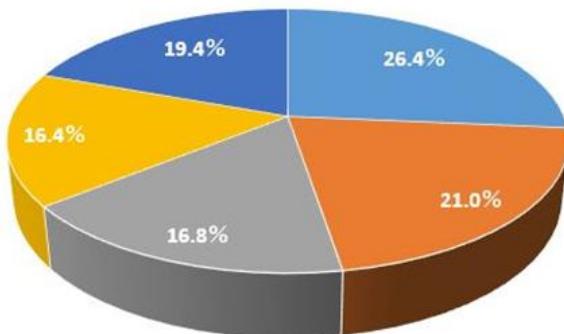
交通事故以外の不慮の事故の傷害発生の場所別にみた年齢別死亡数及び百分率

	65～79歳	
	死亡数	構成比
.0 家（庭）	4,645	50.2%
.1 居住施設	367	4.0%
.2 学校、施設及び公共の地域	368	4.0%
.3 スポーツ施設及び競技施設	8	0.1%
.4 街路及びハイウェイ	250	2.7%
.5 商業及びサービス施設	350	3.8%
.6 工業用地域及び建築現場	109	1.2%
.7 農場	89	1.0%
.8 その他の明示された場所	901	9.7%
総数	9,257	100%

出典：平成27年人口動態調査（厚生労働省）

交通事故よりも転倒が原因

不慮の事故の種類別にみた年齢別死亡数



* 不慮の溺死及び溺水 ■ その他の不慮の窒息 ▲ 転倒・転落 △ 交通事故 ▯ その他

	65～79歳	
	死亡数	構成比
不慮の溺死及び溺水	2,922	26.4%
その他の不慮の窒息	2,324	21.0%
転倒・転落	1,860	16.8%
交通事故	1,810	16.4%
その他	0	19.4%
総数	8,916	100%

出典：平成27年人口動態調査（厚生労働省）